

9月議会
一般質問

東バイパスの交通安全対策を徹底して！…日本共産党議員団 横断歩道の設置を要望していく・・・小沢市長

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049



国道343毎とバイパス

先週号に続き、9月議会の共産党議員団の一般質問の概要を紹介します。2日は瀬川貞清議員が「国道4号線水沢東バイパスの部分供用開始にともなう交通安全対策と生活環境整備について」、3日は今野裕文議員が「胆沢地域内の岩手県交通(株)のバス路線の縮小・再編に伴う地区内交通の構築について」、「米価下落への対応策について」それぞれ市長の見解を質しました。

国道4号線水沢東バイパスは、今年3月21日に、国道397号線からマイアネタウン地内まで供用が開始しました。しかし、バイパスが部分完成しましたが、それまで住民に説明されていた図面とは全く違ったものとなりました。

瀬川貞清議員は、部分供用開始以来住民のみならずから寄せられた要望を、常盤地区振興協議会と瀬台野東町内会から提出された「要請書」をもとに、

要望にこたえるよう努める

小沢市長

7項目にわたり市当局の見解を質しました。

小沢市長はそれぞれ次のように回答しました。

①水沢東バイパスと市道堤根沼尻線の交差点のボックスカルバート内への照明設備設置と②水沢東バイパスと国道397号線交差点の路面補修は、国土交通省が10月をめどに対応する。

③国道343号線の真城字垣ノ内地内に歩車道分離のガードレール又はポールを立てることに付いて、国土交通省が11月末をめどに、国道343号線との交差点の整備工事を行う予定で、その工事の中で実施していただくよう要望していく。

④新設通学路の除雪については市で対応する。防犯灯については、市で電気料の一部を補助し、設置については原則地元にお願しているが、今後地元と協議しながら前向きに検討する。

⑤瀬台野東町内のバイパスの東側地域への消火栓の設置は、従来の場所から30メートル東側に地上型消火栓として設置した。

⑥国道343号線真城字垣ノ内地内並びに国道343号線と市道林前町屋敷線の交差点、および⑦水沢東バイパスと市道台町阿久戸上島線の交差点に横断歩道を設置について、地域の要望を受けて国土交通省と再三にわたり要望してきている。

改めて横断歩道の設置を求める

瀬川議員は、特に、横断歩道の要望について、住民が危険な状態に置かれている実態やこの間の関係文書に横断歩道の設置が前提として説明されてきたことなどを指摘し、安全対策に全力を挙げるよう求めました。

これに対し、市長および担当は「歩行者が安全に横断する場所がないというのはその通りだ。関係機関と協議をしていきたい。粘り強く要望を重ねていく。住民のために一緒に努力していく決意だ。不具合は直してもらわなければならない。」などと



日本共産党
県議会議員
千田みづ子

9月7日

地域で防災研修会!

今日は地元から防災研修会の講師を依頼され、防災士として初体験をしました。

気温が30度以下とは言っても、冷房がない地域公民館での講演は汗だくとなり、大変でした。

でも、日頃から地域みんなで防災について語り合おう!の提起はみんなに届いたかな?と思います。

それにしても汗ビツッヨリだったな!



栃木会館にて

胆沢地域の岩手県交通のバス路線縮小・再編について

今野裕文議員は、「胆

沢地域内のバス路線が、来年3月で再編され、道供養塚折居線より西方には行かない」とされている問題について取り上げ、市長の見解を質しました。

今野議員は、交通権の保障は、

憲法第22条(居住、移転及び職業選択の自由)、第25条(生存権)、第13条(幸福追求権)などを実現する権利だとされていることから、「具体策がないまま路線の縮小・廃止されことはあってはならない」と主張しました。その上で「直接の担当課、まちづくりの担当者、各振興会、総合支所の4者が共通認識にたつて進める必要が

タクシーを利用した

地域内交通を構築したい

小沢市長

小沢市長は、「現状や今後の方向性をチラシにまとめ全戸に配布する。9月から患者輸送車の利用実態の調査、タクシーを利用した地域内交通の利用見込み者の実態調査を実施したい。体制については改めて検討し、地域の人たちが自らの事として考え取り組めるようにしていく」との見解を明らかにしました。